

# 新北九州市立八幡病院基本計画（概要版）

## 1 新病院の基本方針

### （1）目指すべき方向性

救急医療を中心に、相互に関連する小児医療、災害医療を充実・強化する。

地域の基幹病院としての機能をより一層充実するとともに、地域の医療機関との連携を強化し、地域医療における拠点機能の役割を担う。

### （2）基本運営方針

- ・市民の安全・安心を守るため、自治体病院として政策的医療に取り組むとともに、経営の効率化を図った病院運営を行う。
- ・患者にわかりやすい説明を行うなど、患者の視点にたった医療の提供を行う。
- ・療養環境を充実させ、子ども・障害者・高齢者が快適に過ごせる病院を整備する。

## 2 新病院の概要

### （1）診療科構成（18科目）

診療科構成は、基本は現病院の診療科の体制を維持する。ただし、医療環境の変化、地域の需給状況も踏まえ、継続して検討する。

内科、精神科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、救急科、麻酔科、歯科

### （2）病床数

新病院の病床数は、特殊病床も含めて、350床とする。

ただし、開院時は、300床を目途に運用し、開院後は、患者数の動向や医療制度改革等を踏まえて、適宜実態に即した運用を行う。

### （3）診療機能

#### 1) 政策的医療

##### ①救急医療

24時間365日、重篤な患者を受け入れ、集中治療を行う救命救急センター一等の充実を図る。また、救急医療に関わる人材の育成に取り組む。

- ・救命措置や集中治療を提供する特定集中治療室（ICU）等の充実
- ・ドクターカーの出動や医師が救急車へ同乗し、救急現場で初期診療を行うなど、救急隊との連携による病院前救急医療の強化
- ・感染症患者専用の入口・待合スペース・診察室の設置 など

# 新北九州市立八幡病院基本計画（概要版）

## ②小児医療

24時間365日、初期救急から高度救命救急までの医療を提供する小児救急センター等の充実を図る。また、患者やその家族が安心して治療を受けられる体制づくりに取り組む。

- ・小児に特化した集中治療室（PICU）等の設置
- ・救命救急センターとは別の専用の入口、処置室及び観察室を設置するなど、小児救急センターの機能的な整備
- ・早期小児リハビリテーションの充実と市立総合療育センターとの連携、医学的管理が必要な在宅障害児・者の受入体制の強化 など

## ③災害医療

大規模災害にも対応できるよう医療体制の強化を図るとともに、近隣の医療機関とも連携し地域での災害対策を主導する。また、大規模災害にも対応可能な施設整備を進めるとともに、人材の育成を行う。

- ・免震構造の導入、屋上へのヘリポートの設置
- ・平面駐車場の設置による災害時の医療活動スペースの確保
- ・病院内のエントランスホールや会議室等への医療ガスの配管 など

## 2) 専門的医療

現病院で実施しているがん・冠動脈疾患・脳血管疾患・糖尿病の専門的医療について、救急患者の円滑な受入や高度で専門的な医療を提供する観点から機能の強化を図る。

## 3) 地域医療の拠点機能

地域の基幹病院として、地域医療の質の向上を目指し、紹介・逆紹介の推進、市民への健康に対する情報発信等を行う。

## 4) 横断的診療体制の構築

各部門間の連携を強化し、横断的診療体制を構築することで、患者に専門的な医療の提供を行う。

## 5) 患者の視点にたった療養環境の整備

患者のプライバシーに配慮した病室など、患者の視点にたった療養環境を整備し、子ども・障害者・高齢者が快適に過ごせる病院を整備する。

## 6) 持続可能な病院運営を目指した環境整備

市民に継続した医療を提供できるように、経営資源の効率的な活用や市民に開かれた病院を目指した病院運営を行う。

# 新北九州市立八幡病院基本計画（概要版）

## 3 スケジュール

※平成 30 年度中の開院を想定

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
基本設計	実施設計	工事		開院

## 4 整備費用（概算事業費）

概算事業費：約 140 億円

（設計費・本体工事費・外構工事費・医療機器整備費等を含む）

※現段階の試算であり、今後の建設単価等の変動等を踏まえて、基本設計を行う際に改めて整備費用の精査を行う。

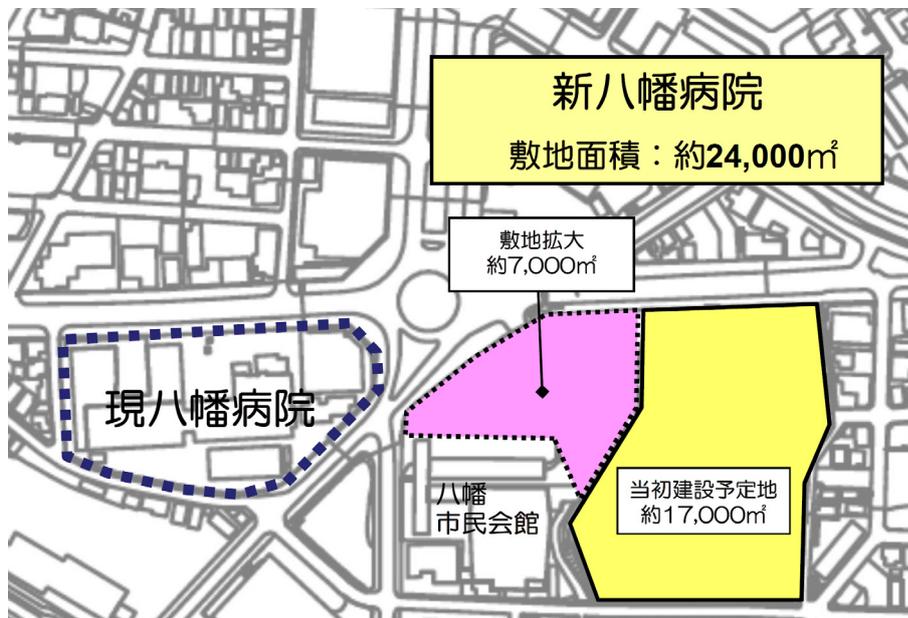
## 5 収支見通し

新病院の開院当初は、新病院への移転や現病院の用途廃止に伴う費用などが一時的に生じることから、単年度実質収支は赤字になる見込みである。

一方、開院数年後には、新たに借入する病院事業債の償還費用が毎年度追加的に生じるものの、新病院の本格稼働により、単年度実質収支の黒字を確保できる見通しである。

## 6 施設整備計画

- (1) 計画地 北九州市八幡東区尾倉二丁目（敷地面積：約 24,000 m<sup>2</sup>）  
（旧尾倉小学校跡地、八幡図書館、八幡市民会館駐車場敷地他）



# 新北九州市立八幡病院基本計画（概要版）

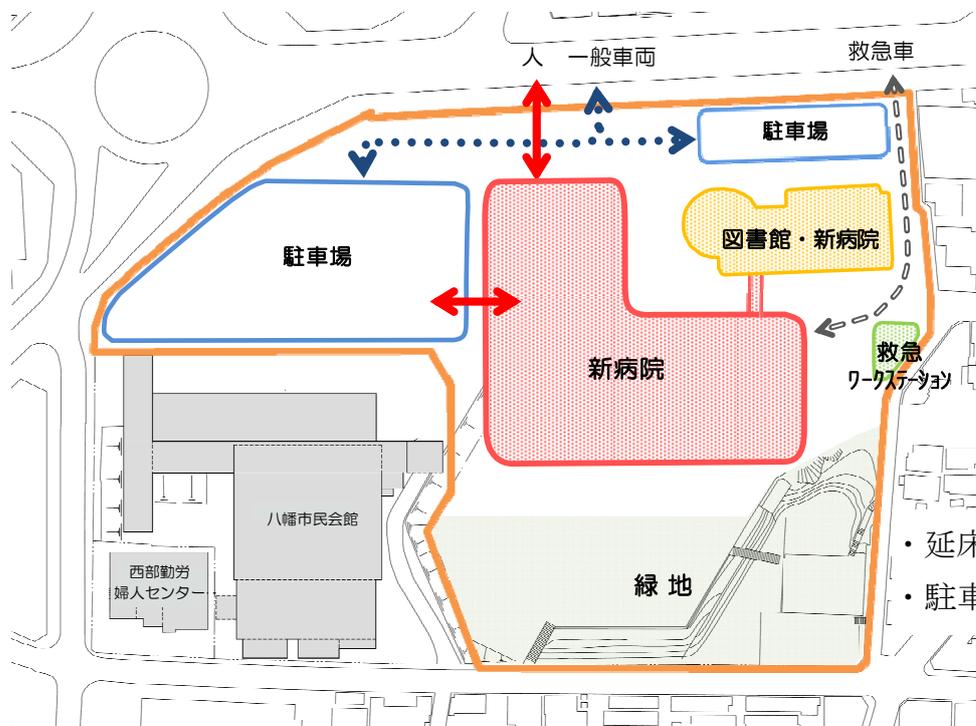
## （2）建築計画

- ・各部門間の連携重視と、緊急時の迅速対応にも配慮した配置計画
- ・可能な限り患者やスタッフ等の動線を分離した動線計画
- ・子どもや高齢者等が使いやすいユニバーサルデザインや、分かりやすいサイン計画
- ・自然光の取り入れなど快適な空間づくりや、患者のプライバシーに配慮した施設整備

## （3）設備計画

- ・発電機の排熱を空調に活用するなど、環境負荷低減に配慮した設備
- ・ライフラインが破損しても、3日間は診療活動を継続できる備蓄設備

### ◆施設配置イメージ◆



### ◆階構成イメージ◆

